

---

◇鈴木正洋議員

○議長（森元淑雄） 次に、3番、鈴木正洋議員の一般質問を許可いたします。鈴木正洋議員、登壇願います。

（3番 鈴木正洋議員 登壇）

○3番（鈴木正洋） 通告のとおり、防災情報の音声による伝達について、一般質問をいたします。

美郷町は、防災行政無線と緊急告知FMラジオを使い、防災情報を音声で同報しています。この2つのシステムの今後の在り方について、今回はお聞きします。

今年1月、町議会が町内団体と行った意見交換会の中で、「防災行政無線の情報が家の中では聞きづらいときがある。熊出没情報など、緊急告知FMラジオで放送できないか」といった声がありました。

最近の住宅は防音性が高く、防災行政無線の放送が聞き取りにくい家が増えています。荒天時においてはなおさらのことだと思います。

これと同じ話は、前に一般質問でも取り上げられました。町民が望んでいるのは、防災行政無線の放送を明瞭に聞きたいということであり、求められているのは緊急告知FMラジオではなく、「防災行政無線を家で聞ける戸別受信機」にあると考えます。

緊急告知FMラジオは、一般的にはコミュニティFM放送で使われるシステムです。FM秋田のような、全県域を聴取エリアとする放送局が防災行政無線やコミュニティFM放送のように、地域を限定した放送をすることは難しい面があります。

FM秋田と提携して、緊急告知FMラジオを利用している自治体は、美郷町と小坂町、羽後町です。このうち小坂町と羽後町は、防災行政無線を持っていないため、音声を同報する第一システムとしての位置づけです。

でも、美郷町には防災行政無線があります。最近では防災メールや町公式LINEへの登録も進み、メディアの利用状況にも変化が見られます。

このような中、毎年それなりの経費を負担し、緊急告知FMラジオというシステムを使い続けるべきなのか、考え直す時期が来ているのではないのでしょうか。

そこで、次の6項目についてお伺いします。

①緊急告知放送の利用実績。

平成29年夏の全県的な豪雨の際には緊急告知FMラジオを使った放送がされたそうですが、そ

れ以外の美郷町に限定されるような豪雨や土砂災害などの場面において、要望した放送が迅速に行われたかどうか。これまでの利用実績についてお伺いします。

②機器の管理と追加購入の必要性。

令和3年度から毎年緊急告知FMラジオの追加購入費用が予算に計上されていますが、その額は年々増加しています。しかし、美郷町の世帯数はここ10年ほど横ばいで、6,600世帯から大きな変化はありません。機器に故障がなく、貸与と回収が適切に行われていれば、追加購入する必要はないと思われます。運用開始から8年を迎え、当初とは状況が違ってきているのでしょうか。

機器の管理は適正か、追加購入は今後も必要になるのかお伺いします。

③防災行政無線の戸別受信機の導入を。

防災行政無線の1つの方式に280メガヘルツの電波を利用したシステムがあります。ほかと比較したメリットは、電波の出力が200ワットと強く、到達性に優れ、波長が約1メートルと小さいため、建物の窓からも入りやすく浸透性が高いという点です。つまり、戸別受信機を導入しやすいシステムだということです。

防災行政無線には様々な方式があり、戸別受信機の導入が簡単にいかない場合もあると承知してはいますが、町民が望んでいるのは、「防災行政無線を家で明瞭に聞けること」にあるので、導入に向け、研究、調査に取り組んでほしいと思います。

④緊急告知FMラジオを今後どうする。

緊急告知FMラジオの使用状況を周囲に尋ねると、3割ほどの人から「家に設置していない」という答えが返ってきます。「ラジオは月1回誰もいない家で鳴るだけ」「防災メールはどこにいても情報が送られてくるから便利」などが理由です。

緊急告知FMラジオの使用はやめて、その経費を防災行政無線の能力向上に充てたほうが良策ではないでしょうか。

また、全面的な中止とまではいなくても、機器の全世帯への貸与を希望者だけの貸与に変更するだけで追加購入の費用は抑えられるはずです。

今後の緊急告知FMラジオについて、どうお考えでしょうか。

⑤防災行政無線の聞こえを改善。

防災行政無線については、戸別受信機の導入と併せて、スピーカーの聞こえの改善にも取り組んでほしいと思います。最近ホーンアレイスピーカーを導入する自治体が増えています。角型のスピーカーを垂直に連結した方式で、従来のトランペット型と比較し、音が遠くまで届きやすく、スピーカー直下でも聞き取りやすい音量で放送されます。

こういった新技術の導入が進めば、現在は130局ある子局の数も減らすことができ、運用コストの削減にもつながると考えます。ぜひ検討してほしいと思います。

⑥火災情報も放送しては。

防災行政無線を使って火災発生情報と消防団出動要請も放送している自治体があります。火事の場所がどこなのかは誰しも気になるところです。美郷町の防災行政無線で火災情報を放送することはできないかお伺いします。

以上、6項目です。

○議長（森元淑雄） 答弁を求めます。町長、登壇願います。

（町長 松田知己 登壇）

○町長（松田知己） ただいまのご質問にお答えいたします。

初めに、「1つ目の緊急告知放送の利用実績」についてですが、平成28年に放送に関する契約をFM秋田と契約締結しておりますが、利用実績は、議員ご説明の平成29年7月豪雨により、町内で床上浸水1件、床下浸水4件、道路、河川、農業施設など38か所に被害が発生した際の避難指示や避難所開設などで3回利用しております。

それ以外はありませんので、それ以降は同程度、あるいはそれ以上の危機的状況がなかったということになります。

続いて、「2つ目の機器の管理と追加購入の必要性」についてですが、新たに転入された世帯に配布しており、年間平均60個ほど貸出ししております。

これは、アパートや借家に入居されたケースも含み、転出の際には原則返却いただいて、清掃後にまた貸出ししております。

令和5年度までに返却されたラジオは60個でしたが、そのうち23個を再利用しております。

なお、こうしたケースも想定し、今年度は20個の購入予定としております。

このように、機器の管理は適切に対応しているつもりですし、今後の追加購入については、緊急告知ラジオによる告知を継続するか否かによりますので、後ほど答弁いたします。

続いて、「3つ目の防災行政無線の戸別受信機の導入」についてですが、現在配布している防災ラジオは、1台1万5,000円ほどです。一方、ご質問の戸別受信機は、町の防災行政無線と連動して、同じ音声でお知らせする機器で、1台約5万円です。受信環境が悪い場合は、アンテナ設置費が別途5万円ほど必要となり、全戸に配備するにはざっと試算しますと約4億円の財源が必要となる見込みです。

現在Jアラートで瞬時に放送される内容以外は、ほぼ防災メールや町公式LINEでも情報提

供しておりますので、できるだけ防災メールや町公式LINEにご登録いただくとともに、Jアラートを含む防災行政無線の放送内容は、町ホームページでご確認をお願いしたいと思います。

そのため、新たに戸別受信機を導入することは、現在のところ考えておりません。

続いて、「4つ目の緊急告知FMラジオの今後」についてですが、緊急告知FMラジオは、さきに触れましたとおり、平成28年度から配布を開始し、7年が経過しております。このラジオの耐用年数は4年であり、全世帯分更新するとすると、費用は約1億円かかると試算しております。

一方、先ほど述べましたとおり、緊急告知FMラジオを全戸に配布した後に平成30年からは防災メール、令和5年からは町公式LINEで情報を発信してきているところです。

こうした情報伝達手段の充実、多様化の状況を踏まえるとともに、新たな情報伝達手段、具体的にはテレビのデータ放送を活用したシステムの選択もできる状況にありますので、新たな伝達手段の選択可否の検討に併せ、緊急告知ラジオの継続可否も検討してまいりたいと存じます。

当然ですが、その結果は緊急告知ラジオの追加購入の可否にもつながってまいりますので、できるだけ早期にその検討の結論を出したいと考えております。

続いて、「5つ目の防災行政無線の聞こえの改善」についてですが、町で使用しているトランペット型スピーカーに対し、最近では、議員ご説明のホーンアレイスピーカーの採用が多いと伺っておりますが、ホーンアレイスピーカーは、遠くまで音が届く利点がある一方、重量が重く、交換する場合は、現在の支柱で強度十分か、検証が必要となり、強度不足となれば支柱の建て替えが必要となります。

また、子局の削減については、音が達する音達エリアの検証が必要となり、聞こえないエリアがあれば、子局の移設等が想定されるため、コスト削減になるとは言えない不透明さがあるように思えます。

一方、子局の近くの町民からは、スピーカー音声に関する苦情も現在も届いており、ホーンアレイスピーカーに交換した場合、さらにその傾向が強まるのが懸念されます。

こうした点を踏まえ、どういう課題があるのかを把握するための調査、検討をしてまいりたいと存じます。

次に、「6つ目の火災情報の放送」につきましては、火災現場に人が集まり、消火活動に支障が出かねないことを考慮し、現在放送しておりません。大仙仙北地区の火災を含む災害情報については、広域消防本部がテレホンサービスにて提供しておりますので、それでご確認いただきたいと思います。

なお、電話番号は、大曲仙北広域市町村圏組合消防本部のトップページに掲載されており、町

でも町ホームページにその電話番号を掲載しているところです。

以上です。

○議長（森元淑雄） 再質問ありますか。（「ありません」の声あり）

これで、3番、鈴木正洋議員の一般質問を終わります。